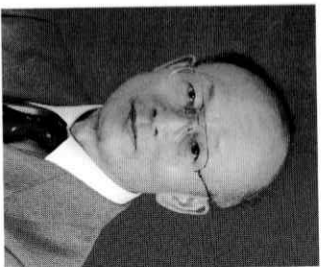


部長挨拶

慶應義塾体育会バドミントン部部长 関場 武



この11月12日、早稲田大学記念会堂で、第54回早慶バドミントン定期戦が開催されることになりました。毎回早慶両校の現役選手諸君が日頃の鍛錬の成果をぶつけ合い、OBがそのバドミントンに対する熱き思いを見せ合う、あの対抗戦であります。創部以来早稲田は50年、慶應は60年を越える伝統ある両校の対決ゆえ、力が入ることは当然ですが、一方、伝統から来るゆとりが産み出さぬ言われぬ和やかな雰囲気があります。コートに立つ人も立たない人も、裏方を務める諸君やお手伝いの高校生たちも、当日応援に駆けつけて下さる諸先輩・家族・友人の方々も、共にバドミントンが出来る幸せを噛み締め、一緒になって定期戦を盛り上げましょう。

ご承知のように、今年は日本で久方ぶりのトマス・ユーパー杯の大会があり、その総会でラリーポイント制の導入が決定。今井監督が事務局長をお勤めの日本バドミントン協会でも10月1日より正式採用となり、以後日本主管・共管の試合はすべて新方式で行われています。先日久しぶりに日体大健志台で関東大学1部リーグの主審を務めました。シングルスはともかくダブルスのせわしなさには、参りました。お互いに慣れてしまえば何ということもないのですが、ペース配分が難しい感じです。

それについても、そのとき主審を務めた試合の中に、酒井宏治君が勝利したシングルスがありました。また、夏の京都での全日本教職員バドミントン選手権大会では、選手としての横野君、稲垣君、ヨネツクスのスタッフとしての三上君や藤巻君に会いました。慶應の平井さんや松下君も頑張っておられました。不思議な縁です。これも、伝統ある両校バドミントン部の為せる業であると思います。皆さん、これから、良き伝統を傷つけることなく、定期戦、そして交流をずっとずっと続けて行なって下さい。お願いします。

会長挨拶

三田バドミントンクラブ会長 小杉良雄



今秋もまた元気な皆さんとお会い出来る日がやってきました。早いもので私が会長職を引受けてから4度目の早慶戦(第54回)を迎えます。我が慶應のバドミントン部は、戦績は今一つですが、部活の方は大変活発化しつつあり、部員数も格段に増えてまいりました。

従来より本早慶定期戦は現役の塾生諸君にとつて一つの大きな目標と励みとなっております。昨秋来の鍛錬の成果として、また新しいラリーポイント制で、今回1点でも多く1勝でも多く勝ち取ってくれるものと大いに期待しています。'For the Team'力を合わせて少なくとも女子1勝、男子2勝以上を取り、応援に駆け付けたOB・OGを喜ばせて欲しいものです。勝ち点を取ることは現在の慶應にと

って掛替えない喜びでもありますから。さて、改めて両校の選手諸君、君達は早稲田の選手としてまた慶應の選手として選ばれ、青春の真直中はこの伝統あるユニークな早慶戦に参加します。このことは実に素晴らしいことなのです。どうか学生らしい、あの夏の甲子園球児にも匹敵するようなひた向きな、若さ溢れるゲームを、母校の為に、自分自身の為に見せて下さい。我々OBも旧友と共に昔に戻り青春の熱気を共有させてもらいます。

また昼間のプレーでの交流は当然のこと、夕刻のパーチーでもバツカスの神の力も借りて、それぞれの友情・友好が促進されることと思えます。この感激と思いい出が早慶両校の皆さんの今後に何等かのプラス(プレーだけではありません)となれば嬉しい限りです。では両校の選手諸君、特に普段リーグ戦に出られない諸君またOB・OGの皆さん、今日一日のご健闘を心よりお祈りします。

部長挨拶

早稲田大学バドミントン部部长 関 一誠



第54回早慶戦の開催おめでとうございます。

少子化、高齢化、不景気などの社会的な要因から、いまだ、スポーツ界を取り巻く環境は決して甘いものではないと感じております。そのようなさなか、来年度早稲田大学は開学125周年を迎えることで、体育各部の活躍にも大きな期待が寄せられ、そこに原動力を求めて大学全体を勢いづかせようと意気込んでおります。一方、慶応大学は150周年を迎えなるとしており、体育会への思いは同様、いやそれ以上のものであるかと推察しております。

「慶応なくして早稲田なし、早稲田なくして慶応なし。」お互いの切磋琢磨が、今日の早慶戦を作り上げ魅了し今日に至っていることを実感しております。

本年は、約120年のバドミントン史の中で、初めてとよい大きなルール改正がありました。サーブミスポイントからラリーポイントとなったわけですが、当然、ゲーム展開に変化が見られます。先日、たまたま、スベインのワドリッドで行われた世界選手権を観戦する機会を得ました。世界選手権という大きな舞台ということも有りますが、内容の濃い、拮抗したゲームがほとんどで、緊迫した目の離せない展開におおいに興奮し、楽しませてもらいました。それは、過去のバドミントンとまったく違うスポーツであると言っても過言ではないかもしれません。新ルールに対する対策として、戦略・戦法を早く確立することが好成績につながるのではないかと思います。

今大会の出場選手の戦略の工夫と弛まない鍛錬の成果で好試合が展開されることを大いに期待しております。

会長挨拶

稲門バドミントンクラブ会長 栗田裕巨



第52回、第53回と2年連続して慶応義塾大学の日吉キャンパスにおいて開催していただいた早慶定期戦が3年ぶりに早稲田大学の記念会堂にて開催されます。

早稲田大学は大学男子戦で15連勝、大学女子戦で5連勝を続けておりますが、個々の試合においては毎年緊迫した熱戦が見られます。

今年、国別対抗世界選手権であるトマス杯とユーバー杯が日本で開催されましたが、国際バドミントン連盟 (IBF) が2月から試みられた21点ラリーポイント制で実施され、5月のIBFの総会において正式に導入されました。

関東学連関係では東日本学生選手権から採用され、秋季リーグ戦同様今回の早慶定期戦もラリーポイント制で開催される一戦同様今年秋季関東学生リーグ戦で初めて観戦しましたが、従来のポイント制に比較し緊張感を感じました。

また、私自身も実戦では秋学期サーブミスを持っていて、従来のポイント制に比較し緊張感を感じました。従来のが、常に気が抜けないようになり、又ミスをすれば即失点になるので、集中力の持続がより重要になったと思います。

特にサーブミスが多い選手は、サーブミスが相手の得点になってしまうので、大変不利だということを感じました。

関東リーグにおける両校の状況においては、早稲田大学が有利であることは否定できなと思います。しかし、ラリーポイント制では、最初から集中力が要求されるので、先行してリズムに乗れば挑戦者の立場の選手に大いにチャンスがあります。

両校選手諸君はラリーポイントに対して的確に対応して、熱戦を展開することを期待します。

今年には様々なメジャースポーツで世界大会の話題が豊富である。今年3月、米国で開催された野球の世界一を決定する国別対抗戦-第1回ワールドベースボールクラシックにおいて日本は見事に初代王座に光り輝いた。サッカーではFIFAワールドカップがドイツで開催され(6月)、バスケットボールのFIBAワールドチャンピオンシップが日本で(8月)、バレーボールのワールドグランプリ・フレイナルラウンドがイタリアで(9月)行なわれている。

これらの大会の様子が多新聞紙面やテレビなどで取り上げられるとき、チーム名の冠に監督の名前をつけて呼称されることが多いように感ずる。王ジャパン(野球)、ジエコジャパン(サッカー)、ジエリコジャパン(バスケットボール)、柳本ジャパン(バレーボール)といった具合である。日本代表チームに限らず、プロスポーツの世界には落合中日(プロ野球)、岡田ワリス(リーグ)などがあり、アマチュアの世界にも清宮ワセダ(ラグビー)と呼ばれるチームが存在する。このような呼称は広く普及している。確かに監督の名前をつけた方が呼びやすいし、誰もが直ぐにわかるという利点がある。これらの監督はそのスポーツ界で際立った実績を残した名プレイヤーであり、個性的、カリスマ性を備えた人格者であるという共通点も見出せる。チーム名の冠には、「監督がリーダーとして大きな影響力を持ち、チームを高いレベルに引き上げてくれるはずだ」という期待も込められているのである。

では、本当に監督が勝敗に大きな影響を与えるほどの力を持っているものだろうか?私にはあまりそのように思わない。監督ができることといえば選手の背中を後押ししてやることぐらいだ。監督のせいで負けることはあっても、監督のお蔭で勝つたなどということは聞いたことがない。100回に1回でもあれば凄いことではないかと思う。どんなスポーツであっても、監督が勝敗、特に勝利に影響力を及ぼすことができる。戦いの場であるフィールドに立ってない以上、監督が勝敗、特に勝利に影響力を及ぼす能力が限りなく少なくなることは当然とも考えられる。ジエコジャパンが予選リーグで敗退し、野村菜天が最下位を独走、古田ヤクルトの成績がソツとしないということもまた事実なのである。このように監督の名前が先行するようであれば寂しいことだ。それでは誰がチームの勝利に大きな影響を与えるのか。答えは簡単、『選手』である。ワールドベースボールクラシックで日本に優勝カップをもたらししたのは、イチローの攻守に亘る活躍、松坂の快投があったからこそ成し遂げられた。選手が頑張つて初めて成果が上がるのだ。主役は間違いなく『選手』なのである。私は、監督の名前よりチームの中心選手の名前が冠になる方がチームを表すのに相応しいのではないかと思う。リーダーである選手の名前で呼ばれるチームは本当に良いチームであると言える。

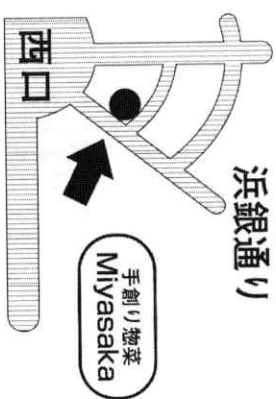
今日は今シーズン最終盤における最大のイベント-早慶バドミントン定期戦だ。主役はもちろん選手たち。菅野WASEDAと広田KEIOとの戦いである。菅野主将、広田主将が1年をかけてどの様なチームを作ってきたのかを披露する場でもある。どの選手の活躍がチームの勝利に大きく影響を及ぼすのであるだろうか。大いに楽しみである。

KEIO VS WASEDA



中央通り

浜銀通り



■ 日吉 ■ ■ 至渋谷

お弁当の注文はフリーダイヤル

0120-37-8629 まで!!

今年も早慶両校の現役、OBが一堂に会して競い合う早慶戦がやってきました。この伝統ある定期戦も今年で第54回を迎えることになりました。これもひとえに諸先輩方の努力と熱意の賜物と感謝申し上げます。

また、今年も監督として戦えることに感謝するとともに大変光栄であり嬉しく思います。

今年の我が部は男子が関東学生春季リーグ戦において5位、秋は6位に終わりましたが、入れ替え戦においてなんとか勝利し、1部残留という成績でした。これも部員一同が一丸となり戦った結果であり、今後に必ず繋がるものと信じております。女子においては1部に定着し、春季は2位、秋季は3位に甘んじています。またが部員も増え、この成績は着実に力を付けてきた証拠と思っております。男女とも、来シーズンにはまた、必ず良い結果を残せると信じておりますので期待してください。

さて、今年の定期戦ですが、全員で一丸となり慶応に臨み、是非勝利をものにしたと思います。しかし、いつも独特の雰囲気の中で行われる早慶戦は過去いくつもの名勝負が実力を超越したところで勝敗がついて来ました。選手諸君には今年も気合い負けせず、日頃の練習の成果を充分に発揮し早稲田らしく悔いのないプレイを見せてほしいと思います。特に4年生の菅野、酒井、芳賀、岩崎、長谷部、石谷、山口、小瀬、清水には学生最後の定期戦として、後輩達の見本となるよう全力をつくして必ず勝利してもらいたい。そして、良き思い出をつくってください。

最後に、今年も慶応の現役、OB諸氏と共により良い試合を展開し、より両校の友好が深まることを望みます。

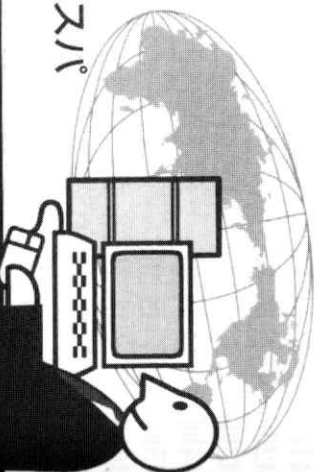
WASEDA VS KEIO

キャ————(V)————!!!
がんばれ早稲田!



ESPA

株式会社エスパ



〒130-0026 東京都墨田区両国 3-21-16 両国中屋ビル8F

TEL 03-5624-7231 FAX 03-5624-7232 URL: <http://www.e-space.ne.jp/espa/>
 ナレッジポータル構築システム『InfoStep』URL: <http://www.infostep.net>

代表取締役 細村 悦子
(S60年度卒)

慶應義塾大学 文学部 昭和34年卒
豊場 建

早慶定期戦思い出すまま

8月27日夜、現役女子の和栗さんよりTELあり、今年の早慶戦のプログラムに投稿してほしいとのこと。もつと若いOBに依頼したらと話したところ五月女監督からもぜひお願いしたいとのこと。それではと引き受けたものの、考えてみればもう50年も昔の話。改めて時の流れの早さを感じました。

早慶戦初出場は昭和30年9月の第3回大会。場所は目黒のドレム学園の体育館でした。当時は早慶両校とも体育館はなく、毎年9月の第2又は第3日曜日にドレムの体育館で行われていました。余談ながら我々の同期及び卒業年度の近いOBが毎年9月の早慶戦前日の土曜日に銀座に集まり大いに飲み食いし楽しく語り合う集いが50年近く続き、5年程前からは早稲田の同期も一緒に盛り上がっています。ちなみに今年9月16日(土)に早稲田の麻生君が参加し楽しい一時を過ごしました。

昭和33年、早稲田の記念会堂が完成し、そのこけら落としにバドミントンとバスケットの早慶戦が行われ、また、秋には、両校初めての自前の体育館での定期戦が行われました。又、この年の定期戦では両校のマナージャー対決、学連委員対決の試合が盛り込まれました。記念会堂の完成に伴い両校の合同練習も行われるようになり、早稲田には小林君、小川君、堺君と続く流れが出来上がりました。同じ年の秋には日吉に慶應創立100年の記念館が完成し、翌昭和34年の早慶戦は日吉で行われ、これ以降、両校自前の体育館で定期戦が行われることになりました。

この頃のOB戦にはシングルの試合もあり、又、試合はフラインナルゲームまで行われしんどい思いもしました。引分け制になったのは数年後だったと思います。又当時は試合後の両校のレセプションもありませんでした。又OB戦では昭和49年の試合に出場しアキレス腱を切ってしまう、入院した病室で広島カープの初優勝を見ていたことも思い出です。

今年で54回、半世紀以上の歴史を持つ伝統の早慶戦、両校の信頼と友情がより一層深まり、素晴らしい定期戦が末永く続くものと思います。

KEIO

慶早戦
寄せて

WASEDA

慶應義塾大学 商学部 昭和58年卒
石井 宏明

すでに自分が早慶戦をたたかっつて20年以上がたちました。久しくその頃のことを思い出さず機会がなかったのですが、今回こういう機会をいただきありがとうございます。当時のことを少し振り返ってみようと思います。字数の関係から、男子戦しか触れられませんが、ご容赦ください。

1982年、4年生の最後の早慶戦。当時の雰囲気は何か？何でも早慶戦勝利でした。春の入れ替え戦で青山学院にて4-0で勝って、勢いに乗っていたこともあるけれど、すぐ後に開催される秋のリーグ戦に、私が入部して以来初めてのがこれの1部での試合が決まっていたにもかかわらず、やはり夏合宿の重点はまずは早慶戦勝利だったと記憶しています。

今思うと不思議なことにも感じます。OBも、また4年間を過ごしてきた私とその同期の選手も、おそらく早稲田の面々も、この両校の対決には強い思い入れがあったと思います。入部以来連敗してきて、相手が格上だと分かっつていても、それを俺たちが止めるんだという強い意気込みで臨みましたが、結局冷静な第三者からすれば、おそらく1対1の予想通りの結果での敗戦だったと思います。自分自身、ほんとに悔しくて「ほんとに勝ったのに」みたいな未練たらしいことを周りに言っつていたと思います。

何か？こんな燃えさせたのかよく分かりません。今の現役諸君の感じ方はあるいはわれわれの時代とは違うのかもかもしれませんが、今改めて言えることは、あそこまで死に物狂いで練習し、できることはすべて準備して試合に臨んだのは、5複10単で総力戦を行える機会であったこと、そして相手が早稲田であることなど様々な要素があるのかもかもしれません。また過去の歴史からも、実力差はいかにあかかわらず「早慶戦では何か起きるか分からない」、先輩たちのそうしたドラマの蓄積がなせる業だったようにも思います。

私の世代前後では、いつも格上だった早稲田の皆さんから見ると違う感覚なのかもしれません。こんな定期戦を持つ私たちは本当に幸せだと思っています。そして、その幸福感を共有できるのは、試合に出られなかった選手も含め、自分のすべてをかけてひとつの目標に向かって者だけに与えられた特権ではないのか、と思います。今期も実力差は大きいと聞いていますが、特に4年生の諸君には、最後の早慶戦を、ぜひ悔いなく準備をし、全力で戦っつていただきたいと思っています。思いが大きいければ大きいほど、この幸福感は残りの人生において光輝くものとなりかわと効いてくるものと私は信じています。

4年ぶりに帰国した今年は、何とか試合を見に行きたいと思っつています。選手の活躍を心より期待してあります。また昔の仲間と酒を酌み交わしたいですね。

早稲田大学 教育学部 昭和59年卒
木内 広史

今年も早慶戦の季節がやってきた。もう54回を数えるのかと、あらためて諸先輩方が築いてきた伝統とその歴史に頭の下がる思いである。私が出場した第28回から第31回大会は、早稲田が4年間とも10-5で勝利している。しかし、試合内容はスコアが示すほどワンサイドではなく、激戦につき激戦で、1つ流れが変われば8-7でどちらが勝ってもおかしくはない戦いだっただ。8月11日に集合し、2度の合宿を経てこの定期戦に臨むのであるが、春秋リーグ戦、東日本、インカルの団体戦と比べても緊張の度合いがある意味全然違った。特に私が4年次の31回大会は、いつもとは雰囲気は全く異なっていた。なぜならば春リーグで単複主戦の早慶男・仲（1年次MVP受賞）がアキレス腱を切り、慶応に破れ6位に終わっていたからである。OBがたくさん駆けつけ、どの先輩からも「今年は勝てるのか」と質問せぬ・・・一方、慶応主将の馬場君も「今年こそは勝ちます。負けたら坊主」を宣言している。私「大丈夫です。絶対勝ちます！」そう言い切るのが精一杯だった。あれから23年、教員となり、選手として、指導者として幾多の崖っぷちを通過してきた。振り返れば、この早慶戦が私の礎であり、心の支えであると思う。先日、後輩の城戸（60年卒・現大学コーチ）の結婚式に招かれ、兄の信弘さん（58年卒慶応）とも久しぶりにお会いした。当時の「よく早慶は兄弟と言いますが、ここにも本場の兄弟が・・・」で始まる懇親会も良い思い出ばかりである。今年からはバドミントンもラリーポイント制に移行する。ルールは変われど早慶の心意気は変わらず、両校の部員全員のこれまでの、そしてこれからの努力が必ずや一人一人の心の力になるものと信じている。

WASEDA 早慶戦 寄せて KEIO

早稲田大学 社会科学部 平成17年卒
桂 秀典

第54回早慶バドミントン定期戦の開催おめでとうございます。本年も両校が熱い戦いを繰り広げられることを期待しております。

私にとって早慶戦の一番の思い出は、坂根君と4年連続で対戦したことでした。毎年の対戦が決まる度に、「また今年もあつたね」と笑いながら話した記憶があります。また、対戦後の飲み会では、互いの健闘を称え合ってお酒を酌み交わしたことも忘れられません。

早慶戦には、勝ち負けだけでなく、両校の友情を深め合えること。多くのOB・OGから、バドミントン談や人生談、あるいは就職のお話などを伺えること。そして、対戦後に待っている、時間を忘れるほど賑やかな飲み会。など多くの魅力があると思います。

このように盛大な定期戦になったのも先輩方の努力によるものです。現役の皆さんは、この早慶戦の伝統の重さを噛み締め、出場できることを誇りに思ってくださいと思います。

近年、早稲田は男女共にインカレ、リーグ戦などで上位を狙える力を持っています。ぜひ、その実力をOB・OGに見せて下さい。4年生にとっては最後の大会だと思います。4年間お疲れ様でした。これからはOB・OGとして後輩を見守ってあげて下さい。3年生以下は、今までより1つ学年が上がることを自覚した上で、これからの練習に励んで欲しいと思います。

最後になりましたが、この定期戦を開催、運営するにあたり、大変なご苦勞をなされた監督、コーチ、諸先輩、主務、副務の皆様方に厚くお礼を申し上げ、両大学のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。

慶應義塾大学 商学部 平成18年卒 (前年度主将)

森 祥 広

伝統と歴史ある慶早バドミントン定期戦が今年も開催されることを心よりお喜び申し上げます。昨年の10月30日。この日は私にとって忘れることのない現役最後の早慶戦でした。佐藤孝一主将との主将戦、防戦一方と決して内容の良い試合ではありませんでしたが、コートサイドからの部員の応援やスタンドからのOB・OGの方々のご声援に応えるべく、ただひたすらシャトルを追いかけたことが鮮明に思い出されます。

今年で第54回を迎える慶早バドミントン定期戦は、他の試合とは異なる独特の雰囲気の中、慶應義塾を背負うということの重みをより一層感じ、選手が力を存分に試すことのできる最高の舞台であると思います。現役選手たちは、大学バドミントン界を代表する早稲田の選手の面々に驚くことなく、慶應義塾の代表として誇りを持ち、自身のプレーを貫き、勝つ喜びや負ける悔しさを感じてほしい。数ある定期戦や交流戦といった類の中で最も伝統ある慶早戦に参加するのは、慶應義塾体育会バドミントン部の君たちです。

また、現役選手には日々の練習の成果を発揮すると共に、今後のステップアップのために実りあるすばらしい試合を期待しています。技術も経験も上を行く対戦相手と競い合い、自分自身をさらに大きく成長させることのできる絶好の機会ではないでしょうか。

そして慶早戦を通して良き伝統ある慶應義塾と早稲田の交流を深めてもらいたいと思います。一打一打のラリーが言葉以上のものを伝えあい、お互いの健闘を称えあうことができると思います。そして試合後は、お互いにお酒を酌み交わしノミニケーションをはかり、両校の絆をより一層深いものとしていただきたいと思います。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、素晴らしい大会になるよう両校の選手のご健闘をお祈り申し上げます。



「歴史と伝統」!! 手作りの店
部員会に! 其の他のパーテナーに!

山 食

慶應義塾三田キャンパス内
TEL 03(3453)5971

早稲田大学 社会科学部 平成18年卒 (前年度主将)

佐藤 孝一

早稲田と慶応が一年に一度会することの伝統ある早慶バドミントン定期戦が、今年もまた無事例年通り開催されることを嬉しく思うとともに名勝負が展開されることを非常に期待しております。早慶戦といつて最初に思い出されるのは、リーグ戦やインカレとは違ったその独特な雰囲気、盛り上がり、慶応の諸君と試合上の交流です。去年の最後に行なわれた主将同士のシングルスは特に今でも鮮明に思い出されます。もちろん勝利を目指して試合を行なっていたわけですが、ただ勝つこと、それだけではなく、早慶戦の中には他の試合で感じることもできない「何か」があったと思うのです。また、レギュラーとレギュラーでないものが一緒に団体戦を戦い、ともに勝利のために奮闘することによってチームにより一層の結束が生まれました。

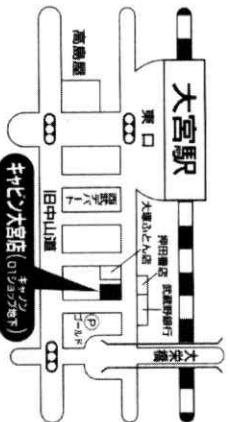
昨年の早慶戦は東日本インカレ、秋季リーグ戦、インカレのあとに開催されて非常に慌しい中で試合でありましたが、この早慶戦での勝利が次に続く新人戦や次年度の数多くの大会へのステップになったように思われます。早稲田・慶応両校の後輩諸君には実力を遺憾なく発揮し、また次につながるプレーを披露してもらいたいと思います。

そして、試合後の「酒」においてももちろん同様です。早慶の交流を深め、かつお互いに負けずに十分に飲み合ってください。

最後になりましたが、今大会を運営なさる方々に感謝し、すばらしい大会になるように御健闘をお祈り申し上げます。



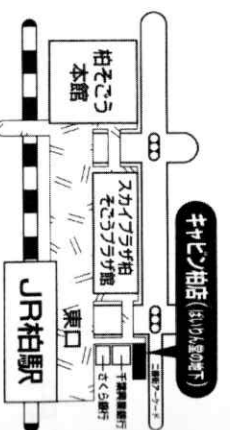
バドミントンの
大好きなキミ達に
キャビンはいつでも
全商品ディスプレイ価格！



年中 営業時間/午前10:00~午後8:00 無休



JBPSPU加盟店



バドミントンのことなら
『生き字引』のスタッフが
最高のアドバイスをお
バッチリしてくれるヨ！

大宮店

さいたま市宮町1-38-1
野村不動産大宮共同ビルB1
TEL.048(643)5865(代) FAX.048(645)2295



ラケットショップキャビン

柏店

柏市柏1-2-35
共同ビルサンキャビンB1
TEL.0471(66)7756(代) FAX.0471(64)5489

伝統ある早慶バドミントン定期戦も今大会で54回を数えます。この伝統ある大会を慶應の主将として迎えられることに非常に大きな喜びを感じるとともに、責任の重さを痛感しています。自分自身、大学4年間で最後の大会となる今大会にかける思いは、副将の小池、主務の小粥と共に一人です。

過去を振り返ってみると、本塾は本大会において、一昨年は完封負けを喫し、昨年は一矢報いることがやっとという結果でした。しかし、今年の慶應は全然違うと言いたい。

なぜなら、従来から引き続き指導してくださっているコーチのほかに、新任のコーチを迎えスタートした今年度、部員数の急激な増加だけでなく、コーチ、そしてOB・OGの方々からのサポートもここ数年にないほど恵まれ、部に新しい風が強く吹いていることを感じずにはいられません。

しかしながら今年度のこれまでの成績は、男子は春リーグ、秋リーグでは善戦はするものの惜しいところで優勝を逃し、昨年秋季と同じく4部2位となり、悔しい思いをしています。そしてまた女子も、今秋のリーグ戦でゲーム数差で最下位となり、入れ替え戦に臨むことになりました。しかし残念ながら、その入れ替え戦も法政との戦いに0-3で敗れてしまいました。

男子も女子も今年のこの悔しさはもう二度としたくない、絶対にしたくないと、今、チーム全体にリベンジの思いがみなぎっています。

この早慶戦では、ここ数年惨敗を喫しています。それだけに、リーグ戦の分も含め、これまでの悔しさをぶつけ、勝利に対して執着し、下馬評を覆すような結果を出したいとチームの全員が考えています。今の慶應のチームなら絶対にいける、そう強く信じているのは、私が単に主将であるからという理由だけではありません。私がかそう思っていることが本当であるということを含め、この日の慶應のプレーを見て感じ取っていただきたいと思います。

最後に今大会での両校選手による素晴らしい戦いを期待、約束し、抱負とさせていただきます。抱負とさせていただきます。

KEIO VS WASEDA

特殊鋼他各種金属素材の切断加工販売いたします。

五味渕鋼鉄株式会社

代表取締役 五味渕 努 (昭和63年慶應大学法学部卒)

本社 横浜市都筑区川向町922-26
TEL045(474)4560 FAX045(474)0003
E-mail: go3buchi@f3.dion.ne.jp
郡山支店 福島県郡山市喜久田町菖蒲池22-165
TEL0249(59)1511 FAX0249(59)1516

今年も早慶バドミントン定期戦を迎えることになりました。本年で54回を数えるこの歴史ある大会に主将として出場できることを最高の名誉を感じるとともに主将として我が部の勝利をもたらさなければならぬという責任感を強く感じることになります。

さて、我が早稲田大学バドミントン部は、今年の秋季リーグ戦では男子1部6位、女子1部3位と男女ともに十分に満足できる成績ではありません。現在秋季リーグ戦よりも良い成績を挙げるべく、部員一丸となり厳しい練習を積み、体力的にも技術的にも確実に進歩したものと確信しております。この伝統ある早慶戦において勝利を収め、さらなる目標に進んでいきたいと思っております。

慶応の諸君、お互いに日ごろの練習の成果を十分に発揮し、正々堂々と個々の納得のいくプレーをして、この伝統ある早慶戦にふさわしい最高の試合をしようではないか。

最後になりましたが、常日頃から応援激励してくださっているOB・OGの皆様には厚く御礼申し上げ、第54回早慶バドミントン定期戦が無事に開催されることを願って、主将抱負と代えさせていただきます。

WASEDA VS KEIO

炭火香房 楽丸

座敷 全80席
テーガル席 60席

得 宴会コース

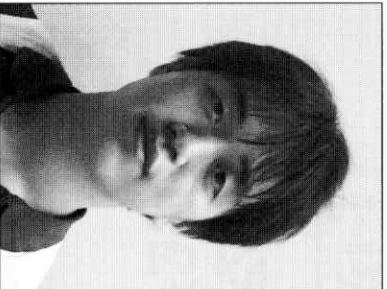
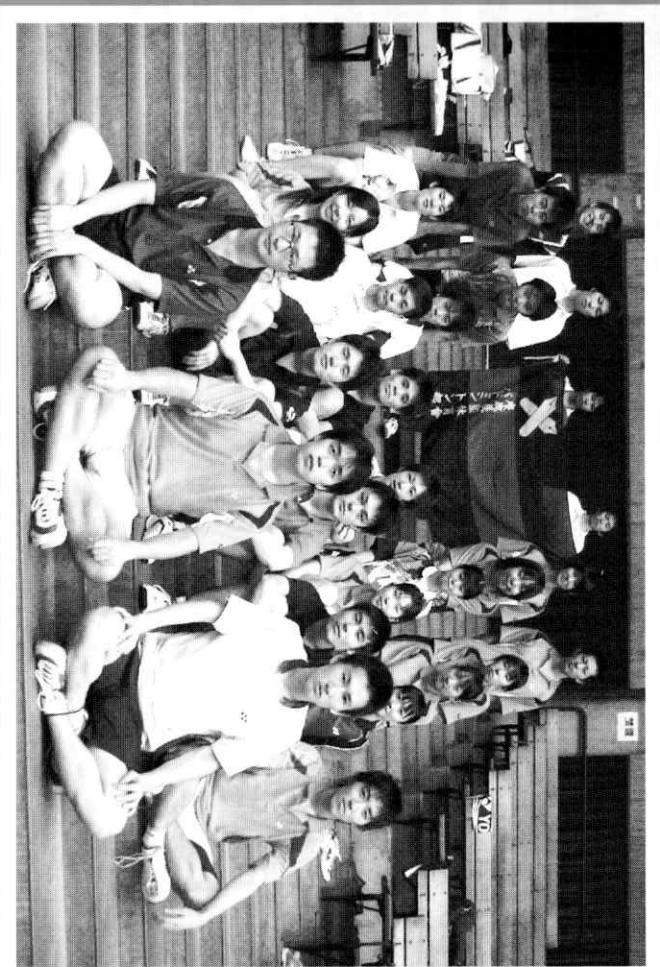
飲み放題 + 料理 5品 **¥2500**

飲み放題 + 焼肉食べ放題 + 料理 3品 **¥2700**

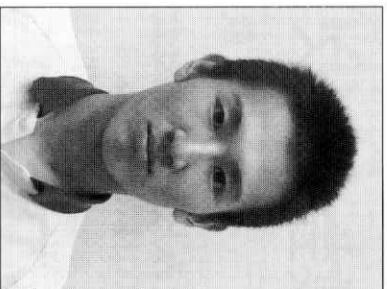
高田馬場駅前名店ビル4F

TEL 03-3209-5768

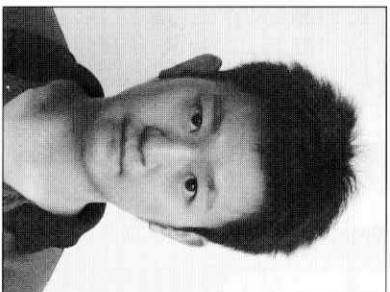
KEIIO



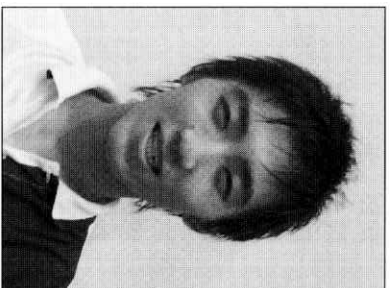
主将 広田 崇
理 4
東北学院(宮城)
ほってりとしたうしろ姿、
そしてタレ目具合はまさに
くわが部のパパ。シンガ
ルスの要でもあり(本人
談)、主将としてチームを
ぐいぐい引っ張っていてい
もちろんお酒の席でも...



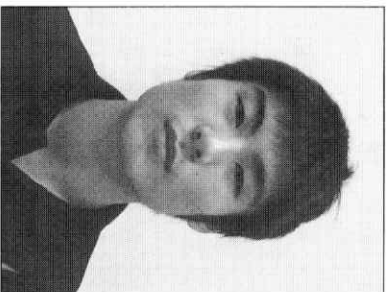
副将 小池 徹
経 4
東海(愛知)
今年度副将、頼れる兄
貴的存在の小池さん。
チャームポイントには坊
主頭。わざわざ美容院
ですいてもらっている
らしい。え、どこを？



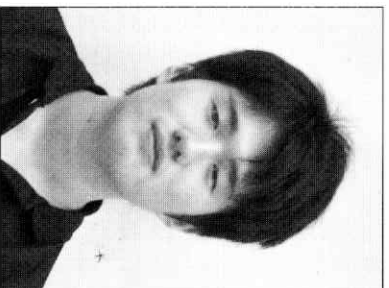
主務 小粥 貴善
理 4 滝 (愛知)
(コガイは教育実習を倒した。) ...ピコーン!コガイはしべ!が上った。コガイはあたらしく「優しさ」を覚えたい。...しかし技がいっぱいだ。技をすてますか?... 「はい」。ピッ。コガイは「迫力」をすてた。



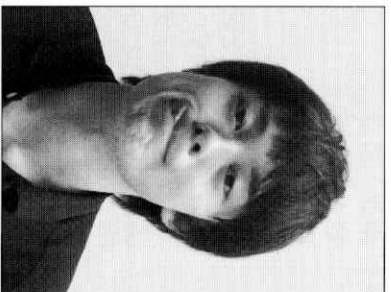
手塚 純平
政 3 慶應義塾 (神奈川)
誰もが注目するその足は、このたび怪我からの復活を経て更にパワーアップした。次はスパッツを破いてほしいと願ってやまない。



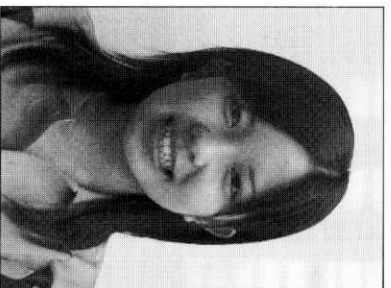
副務 吉永 裕貴
政 3 東葛飾 (千葉)
いつもハードスケジュールに追われるまじめな吉永さん。しかし、この星の住人は、彼が○○○○星人であることに気づいていない。



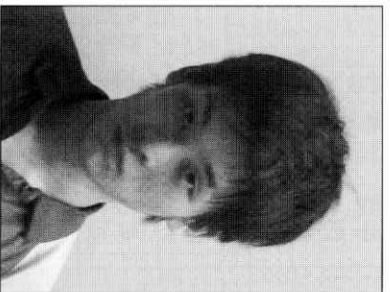
坂根 宏志
理 3 公文国際学園 (神奈川)
部内きつてのシャイボ一の宏志さん。日吉に広いお部屋を持っているが、なかなかお目にかかれない...



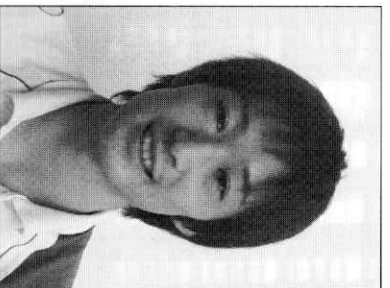
中村 翔一
環境 3 東海 (愛知)
ご存知、東海ずっこけ3人組の次男坊。日本でただ1人の独特の間とセンスで部内を笑いの渦に巻き込む。寒冷前線通過中〜。



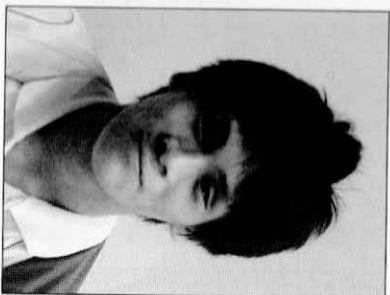
女子主将 高橋 明子
看護 3 慶應義塾女子 (東京)
女子部を引っ張る明子さん。ナースを目指して日々地獄の実習をこなし、後輩とのカバールスでは脅威のカバー力を発揮している。まさに努力の人、である。



光井 翔商 2
浅野 (神奈川)
元祖マスコットののみっちー。普段は愛くるしいがお酒が入ると厄介なことこの上ない。確か去年は猫になって店員にからんだようなのもちらろん本人に記憶はないらしいが。

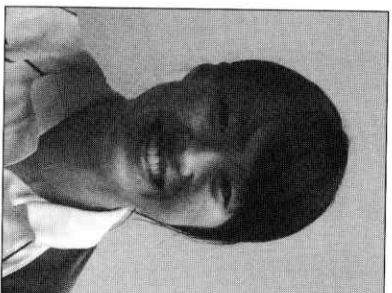


山口 悦伺
商 2 東海 (愛知)
最近、インテリアに凝りはじめたらしいが、「みんなのお家」と化しているあの部屋が綺麗に保たれるわけがない。要するに人気者ってことだよ、きつと。



前田 賢志
理²
慶應義塾 (神奈川)

同期を支える人一倍責任感の強い、よく食べよく眠るゴリラ。笑。恋愛偏差値44(チームメイト談)の純な男である。



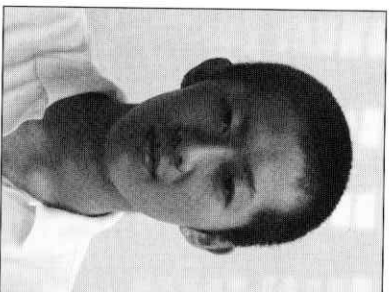
和栗 恵
政²
慶應義塾女子 (東京)

我が部の元気印。パワ―に更に磨きがかかり、最早本人も制御不能。握力50000。



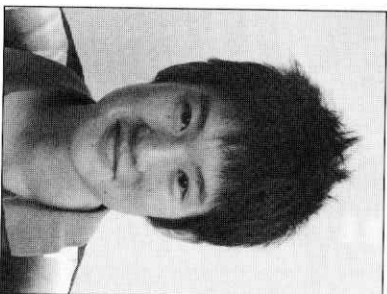
藤原 めぐみ
環境²
大和西 (神奈川)

女子部のエースとして大活躍している藤原。なんだけ最近かわいくなつたと評判。…え？前からかわいって？はいはい。笑



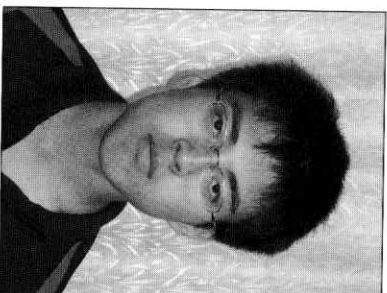
高橋 慧
法¹
慶應義塾 (神奈川)

佐藤翔治とフオームが一緒だと言いつ張りますが無視して下さい。当然みじんも似ておりません。しかし彼は言う「早稲田は俺が倒す!」



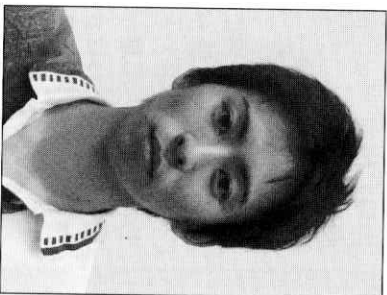
石岡 陽平
経¹
慶應義塾 (神奈川)

言わずと知れたベビーフエイズ石岡。周囲からの黄色い声に嫉妬した光井がかわいいキラ奪還のために彼を蹴落とそうと裏で活動中。



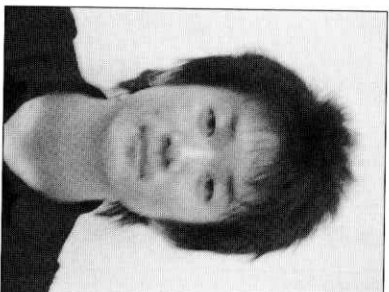
中津 哲彦
経¹
開智 (埼玉)

1人静かな時間を過ごすのが好きな中津。彼に会いたいときは昼休みに部室に行くといい。8割方会えるはず…



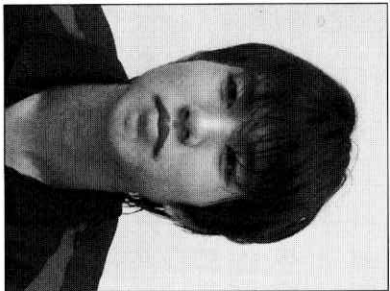
渋谷 康太
商¹
東葛飾 (千葉)

今期のメンバーの中で唯一インターハイ出場経験を持つ。現在は、来年のM-1出場を目指して猛練習中だ。持ちネタはすでに100を超えている。



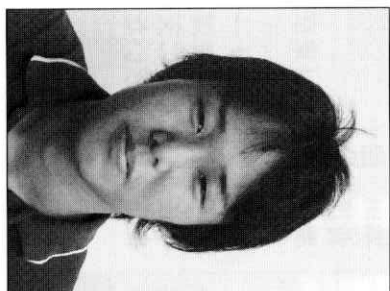
中野 篤史
理¹
柏陽 (神奈川)

しばらくビーチバレー部に移籍していた不良な彼だが、つい先日涙を浮かべて戻ってきた。「安西先生！バミントンがしたいです!」



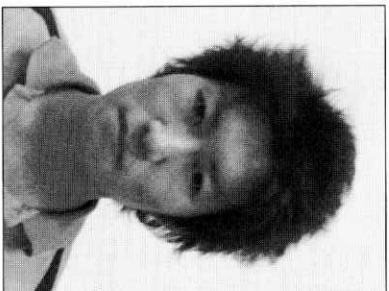
中村 卓磨
理1
海城 (東京)

「岡をこよなく愛すタケマロ。彼のテンションに最後まで付いていける人は数少ない。」



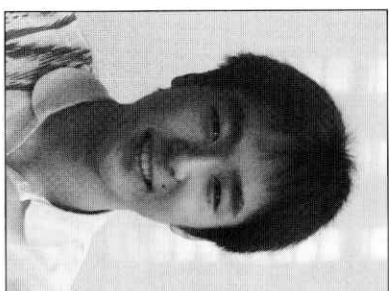
福岡 淳一
理1
高松商業 (香川)

「ちよっと目つきが悪いせい、か1年女子から怖がられているらしい。本当に良いヤツだからこわがらないですよ…」



中島 優
環境1
都留 (山梨)

「山梨県チャンピオンのなかじま。「なかじま」と読めない人がいるらしく、東日本では「なか…君」とコールされた。みなさん、ちゃんとおぼえてくださいな。」



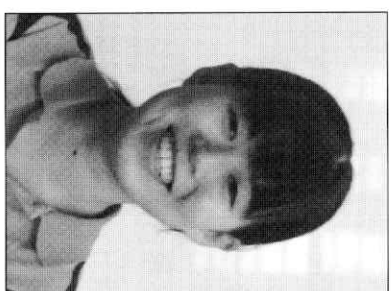
森本 修介
環境1
日本大学第三 (東京)

「研究熱心なもりもっち。試合のときは毎回ビデオに撮っているのだから…そのさわやかスワイルも研究の成果なのだろうか。」



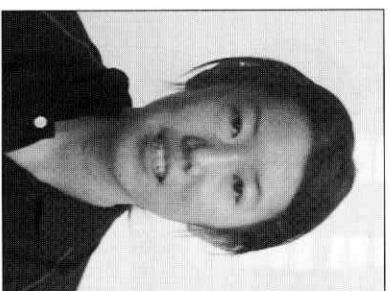
権藤 佳奈子
経1
新宿 (東京)

「名前を聞いたときは誰かがイカツイ系を想像したものだ…その鍛え抜かれた美脚で走る姿は、もう速すぎに見える。」



高橋 千怜
経1
大妻多摩 (東京)

「バドミントンは初心者のチーゴジヤパン。しかし実は影でチームを操っているらしいとの噂も…」



中井 舞
商1
三鷹 (東京)

「試合中に謎のミラクルショットを炸裂させる中井ちゃん。彼女の私生活は謎に包まれているが、携帯して一部で大流行しているらしい。」



安達 華
理1
慶應義塾女子 (東京)

「3分に1回くらい割合で「すみません」と言ってしまう華ちゃん。「わりと」弱気だが、うちに秘める闘志はすさまじい。」



本田 聖子
看護¹
慶應義塾女子 (東京)

わが部2人目のナーズの卵。合宿中に洗濯を手伝う姿はまさに天使に見えたにちがいない。

祝 早慶バドミントン定期戦

財務・資金繰りのことなら

宮地会計へ

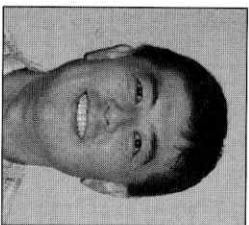
税理士・経営士・産業能率大学教授

宮地 昌之 (昭和56年慶大経済卒)

〒245-0002 横浜市長区弥生台 29-1-301 TEL045-812-1842

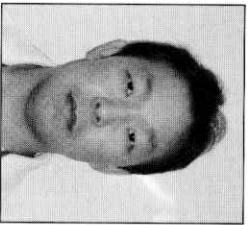
e-mail masayuki56@cam.hi-ho.ne.jp

H.P. <http://www.e-adviser.jp/miyachiao>



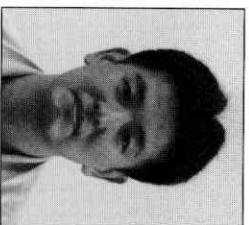
五月女 季孝
Toshihika Saotome
昭和60年理工学部卒
桐朋学園 (東京)
野村アセットマネジメント

監督は現役部員にとって父親のような存在だと思う。コーチは兄・姉であり、OB、OGは祖父母・叔父叔母など親戚のようなものだ。父親からすれば、子供の行うこと全てが可愛く、その成長は大いに楽しみなものである。



ヘッドコーチ兼 下級生担当コーチ
茂木 一秀
Kazuhide Motegi
平成4年理工学部卒
中大附属 (東京)
大日本印刷

茂木コーチの信ずるところは、「高校時代に全く実績を残せなかった選手でも、大学4年間に亘って“しつかり練習”すればインハイ上位クラスの選手に必ず勝てるようになる。」彼自身の体験でもあるだけに説得力がある。



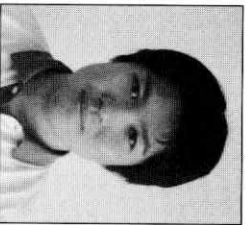
コーチ
巽 弘樹
Hiroki Tatsumi
平成6年経済学部卒
慶應義塾 (神奈川)
明治安田生命保険

練習に参加する時は千葉から日吉まで車で大移動。そんな日に限って部員が救急車で運ばれることが何度起きた。以降、ダウンした部員を自宅迄送り届けるのが巽コーチの役割になってしまった。これは本場に偶然です。



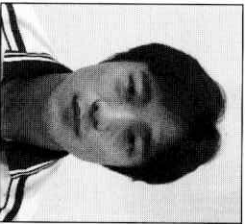
コーチ 直子
Naoko Iwabe
平成13年総合政策学部卒
園田学園 (兵庫)
野村総合研究所

中・高校時代に輝かしい実績を誇った岩部コーチも、大学入学後は学生主体のチーム運営や、男女合同での練習方法など様々な違いに戸惑いを生じた。それら乗り越え、主将も体験した彼女の言葉には深い思慮を感じる。



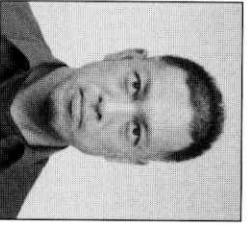
コーチ 田添 亮
Ryo Tazoe
平成15年環境情報学部卒
長崎北 (長崎)
東京海上日動火災保険

卒業後4年目に突入。社会人として激務をこなしつつ第一線でプレーを続ける。練習量が減っているのにショットには切れがあり、早いラケットワークとショットワークも見事である。勿論まだまだ現役に負けるわけがない。



コーチ
吉岡 達循
Tatsuyuki Yoshioka
平成17年環境情報学部卒
渋谷教育専攻 (千葉)
慶應義塾大学大学院在学中

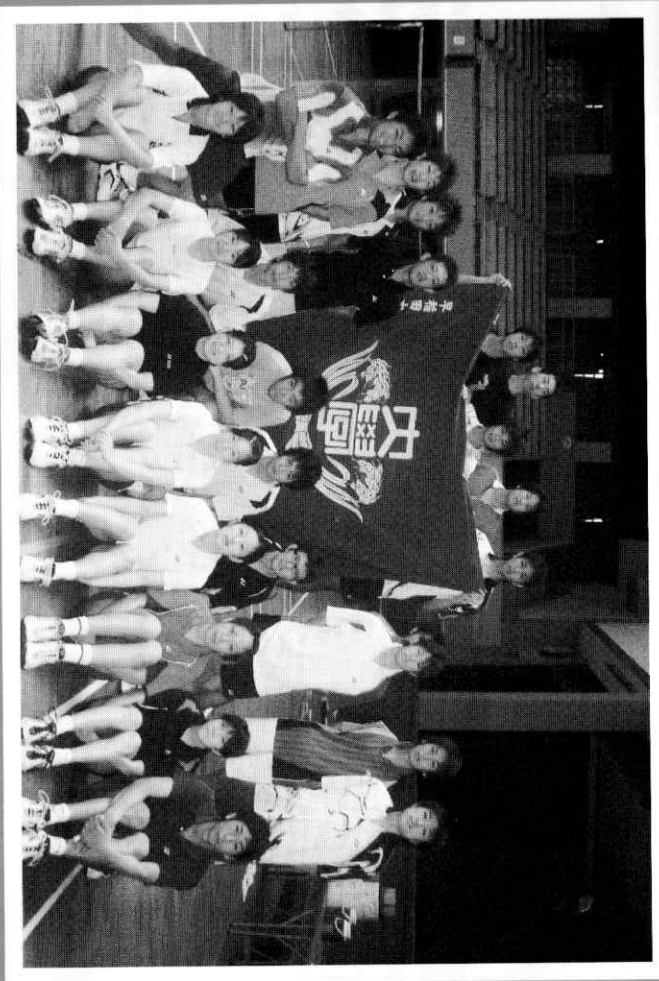
2年前の早慶戦、壮絶な戦いとなった横野vs吉岡の主将戦は記憶に新しい。ヤンチャ坊主と言われていた男が堂々たるリーダーとして戦う勇姿に多くのOBは目頭を熱くした。現役部員にとっては頼れる兄貴的存在である。



マネジメント・アドバイザー
平野 一博
Kazuhiro Hirano
平成元年法学部政治学科卒
中村 (愛知)
三菱地所

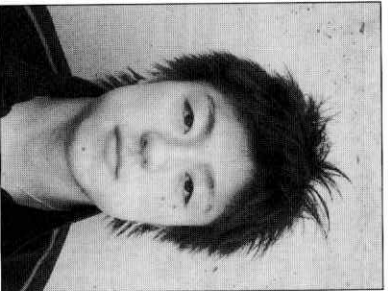
現役時代は名マネジメントとして部を陰から支えてきた。その手腕を買われ、本年度より新たにコーチングスタッフに参画。ワイルドな顔貌からは想像のつかない優しい気配りで、あらゆる主務関連業務の相談役を担う。

WASEDA



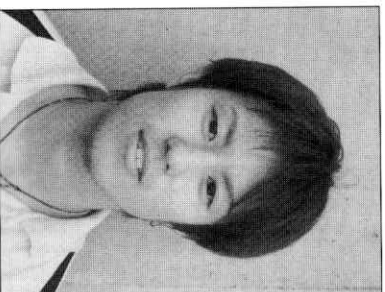
主将 菅野 俊助
大ホコ科 4
帝京安積 (福島)

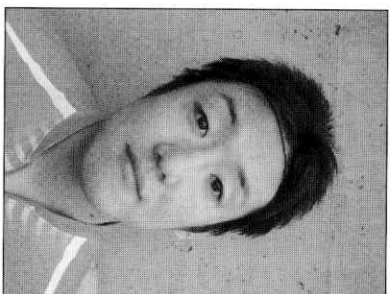
足から北半球を滅ぼす程の異臭を放つ彼。マイクを持ったら放しません！



副将 酒井 宏治
社会学 4
関東第一 (東京)

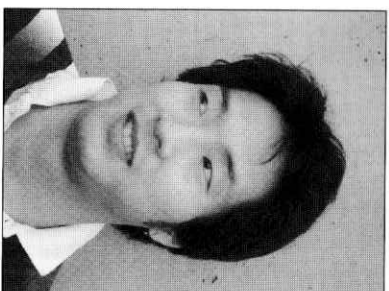
彼の辞書にはグレイキーという言葉はないのか、やりすぎコージさん！





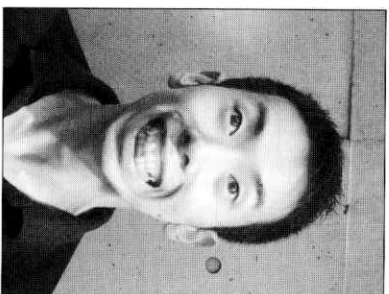
副将
芳賀 涼
スポ科 4
仙台第三 (宮城)

ラドンをこよなく愛し、家に帰らないでお巡りさんとケンカする彼。最近のお気に入りには石くくん宅である。



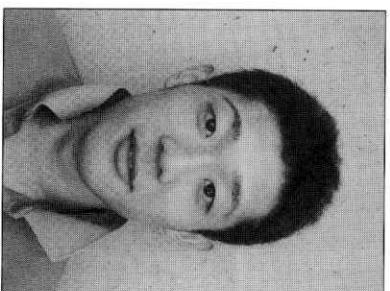
主務
岩崎 良彦
政経 4
早大学院 (東京)

今年危うく強くてニエーゲーム状態の留年から逃れた彼。そんなハッピーエンドの迎え方も猫背らしい。



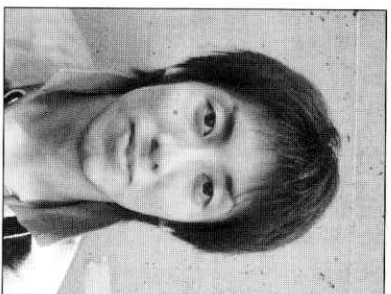
長谷部 悠
人科 4
実践学園 (東京)

いつもNo.1よりLon-ly.1な彼。ついに愛と勇気から裏切られたらしい。



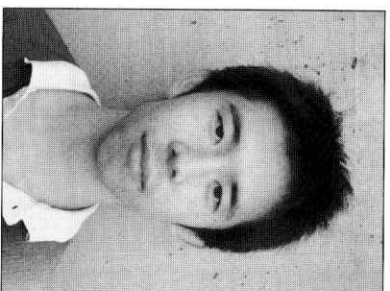
石谷 育司
政経 4
敦賀 (福井)

宇宙規模の新陳代謝を誇る彼。コートに作ったグラフィックホルは数しれず。肝臓が性感帯らしい。



山口 翔
理工 4
盛岡第一 (岩手)

最近ストレスのたまっている彼。その原因は○谷部さんの落ちのないう話や無作為な☆ほりである。



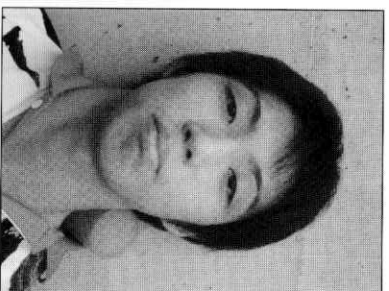
小瀬 俊介
理工 4
斐太 (岐阜)

全米No.1もやしっ子である彼。髭を剃るのは何曜日？



女子主将
清水 陽子
スポ科 4
常総学院 (茨城)

早稲田一の美しさを持つ彼女。その秘訣は運動すると汗の代わりにドモホルンリンクルが出てくることにあるらしい。



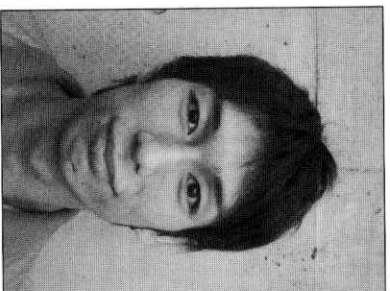
日下直人
スポ科 3
高松第一 (香川)

うどんをこよなく愛する彼。うどん以外の小麦粉料理を食べていると罪悪感を感じてしまうらしい。



鈴木 博貴
社学 3
桐生商業 (群馬)

ここ一番の中途半端さには定評のある彼。親の七光りが輝かないのが悩ましい。



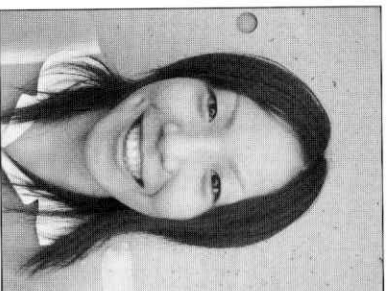
副務
金子 尚弘
政経 3
早大本庄 (埼玉)

全国で唯一「ダサイ」の称号を得た県出身の彼。お洒落しないで山手線に乗ることはできないらしい。



丸山 義夫
教育 3
北多摩 (東京)

いつも笑っている彼。その理由はメガネのあまりの性能の妻さに人の着ている服が透けて見えるかららしい。



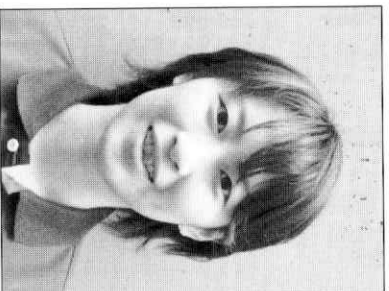
金森 裕子
スボ科 3
星陵 (静岡)

作ったボケは常に無添加の天然物な彼女。寝坊する時は現実から頑張って逃げるらしい。



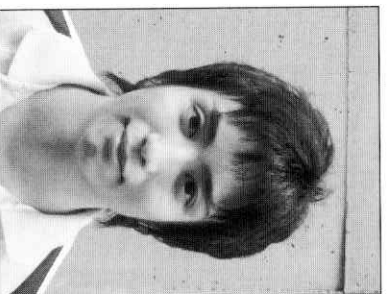
木村 咲絵
スボ科 3
金沢向陽 (石川)

ガッツリ食べてゲッツリ痩せたい願望のある彼女。履歴書の特技欄はキムバウアー



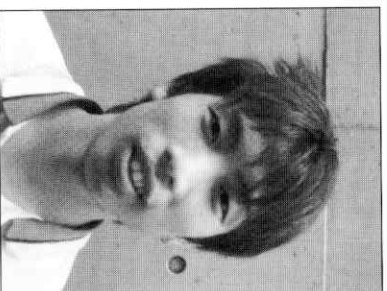
平山 優
社学 3
聖ウルスラ (宮城)

早稲田で遭遇率の低い彼女。倒すと経験値が二倍貰えるらしい。



川口 謙太郎
スボ科 2
八代東 (熊本)

暴走族と間違えられたイビキを持つ彼。そんな彼も腕枕をするときイビキをかかないらしい(X塚)



木村 雄一朗
社学 2
八代東 (熊本)

給料=軍資金の彼。貯金が底を突き抜ける日もそう遠くない。



佐々木 彩香
 社会学²
 聖ウルスラ (宮城)

早稲田のマスコミコトキヤラ的存在な彼女。そのキヤッチコピエなら「ハンカチ王子」ならぬ「ちりがみ玉女」



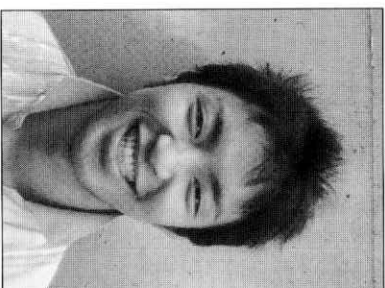
松浦 翔
 スポーツ科¹
 青森山田 (青森)

一年生男子のツッコミ役である彼。他二人の喧嘩に心配の種が花開きそうである。最近謙太郎から女子高生ハンターの称号を受け継いだらしい。



羽石 直弥
 社会学¹
 常総学院 (茨城)

靴下を履かない彼。靴下を履かない界では石田純一の次に有名らしい。



小松 俊介
 スポーツ科¹
 新宿 (東京)

メールの問合せは主に空振りな彼。「恋は無期限？俺にはもうわかってない…」

祝 早慶定期戦

各種記念ペナント調製

マーク・ワッペン・旗・腕章

オギワラ

〒160-0051 東京都新宿区西早稲田1-8-24

早大東門前大隈通り

TEL 03 (3202) 7846

FAX 03 (5273) 8285



江淵 愛美
又求科 1
高岡西 (富山)
類に実家の魚の貯蔵庫
を持つ彼女。平安時代
ならモテただろう。



丁塚真紀
教育 1
聖ウルスラ (宮城)
その物忘れは大臣ク
ラである。しかし愛登
があるため忘れてもこ
めんで済んで警察はい
らないらしい。



片岡 友紀
一文 2
久居 (三重)
レディーヌのようにバ
イクを乗り回す彼女。
その威圧感に〇芝くん
は話しかけにくいよう
である。

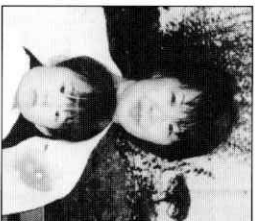
早稲田 源兵衛
TEL・FAX
3232
六六三五

人を惹く早稲田の
味噌と源兵衛の
江戸汁の味



コーチ・城戸 友行
Tomoyuki Kido
昭和60年第一文学部卒
早稲田大学高校 (東京)
勤務・国学院大学久我山中学高等学校
大日本印刷

早大バド部を影からひそかに見守るジェントルマン。ダンディである。



コーチ・野口 純世
(旧姓 菅野)
Sumiyo Noguchi
平成3年教育学部卒
八王子東 (東京)
勤務・早稲田大学

笑顔の素敵なお姉さん。コーチ陣の紅一点で、彼女が来ればその場が明るくなる！



コーチ・渡辺 英次
Eiji Watanabe
平成5年人間科学部
スポーツ科学科卒
生田 (神奈川)
勤務・八戸大学

メガネの優しいお兄さん。早大バド部の縁の下の力持ちでもある。